

放送大学
群馬学習センター

上州

No.85

発行
2023年1月〒371-0032 群馬県前橋市若宮町1-13-2 TEL 027-230-1085 FAX 027-230-1094 Eメール gunma-housou@ouj.ac.jp
群馬学習センターウェブサイト <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/gunma/>

自己紹介

これまでのこと、これからのこと。

放送大学群馬学習センター 客員教授
(前 群馬大学数理データ科学教育研究センター 教授)まつ とうら
松 浦
つとむ 勉

2022年10月より、放送大学群馬学習センターの客員教授に着任しました松浦勉と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

私は2022年3月まで群馬大学の教員として教育・研究に従事してきました。群馬大学では長年、理工学部において、ロボット工学、応用数理解析、信号数理特論などの講義を通じて、自身が学んできた「数理のこころ」を伝えることに努めてきました。学生の卒論・修論・博論指導では、数学ではなく工学部学生が興味を持ってくれそうな信号・画像解析に関する研究をおこない、医学部や同僚の先生方、企業などと共同研究をおこなってきました。私自身の主研究テーマは「再生核の理論と応用」というもので、齋藤三郎先生（群馬大学名誉教授）や内外の数学者仲間と研究を遂行してきました。再生核理論は、壮麗で広大な複素解析学の中で重要な位置を占める美しい理論ですが、抽象的な理論として永い間本質的な応用や展開が見られ

ず、「計算できない」理論でした。この理論を物理・工学・医学などに現れる逆問題へ応用展開する手法を開拓して、熱伝導、波動方程式、ポアソン方程式などの逆問題、ラプラス変換の実逆変換問題など、斯界の長年の難問群に対して初めて解の陽的な表現を得ることができました。

群馬大学での最後の2年間は「群馬大学数理データ科学教育研究センター」にてデータサイエンス教育の推進に尽力してきました。このセンターは、群馬大学でもSociety5.0（政府が第5期科学技術基本計画において提唱した我が国の目指すべき社会システム。IoTやAI、ロボットなどの新たな技術を日常や産業などに取り入れて、一人ひとりが活躍できる社会、課題を克服できる社会。）を担う人材育成を目指するという趣旨のもと設立されたものです。同センターでは社会がSociety5.0を目指すためには、「データ時代の読み・書き・そろばん」であるデータサイエンスの啓蒙が重要と考え、小中高

目次

巻頭文	1
巻頭文つづき／2022年度 履修サポート会開催／「広報・履修サポーター」募集	2
名誉学生寄稿文	3
群馬学習センター取材報告	4
システムWAKABAを単位認定試験対策に活用しよう	5

重要連絡 単位認定試験について	6～7
事務室からのお知らせ	8～9
今後のスケジュール／学生サークル紹介	10
学生サークル紹介つづき	11
同窓会からのお知らせ／4月入学生募集	12

生には「ぐんまジュニアICTクラブ・プログラミングスクール」や「IoTスクール」、社会人には「社会人のためのデータ解析」（履修証明プログラムで、社会情報学部と共同実施。）などを開講しています。その中で私も社会人と大学院生に「ベイズ統計学特論」を講義しています。Society5.0実現のためにはリカレント教育も大切な要素ですが、太田市とその近辺の企業人を対象とした「リカレント教育講座」において、「確率統計」を5年間担当しています。自ら学ぼうとする社会人の意欲は素晴らしいもので、大学内で学生に対して教えているときとは

異なる緊張感と喜びを感じており、教師冥利に尽きるものです。

この度、縁あって放送大学群馬学習センターで学ぶ皆様とご一緒する嬉しい機会を得ることができました。放送大学は典型的なりカレント教育としての学びの場です。皆さんはそこで自ら学ぶ道を選ばれました。学歌にある「生きるとはまなぶこと まなぶのはたのしみ」、「生きるとは知ること 知るとはよろこび」の実践者です。誇りをもって大いに学んでください。微力ながら私も皆さんの学びのお手伝いできればと願っております。

2022年度 履修サポート会を開催

新型コロナウイルス感染症の拡大により、しばらく開催できていなかった「履修サポート会」を、11月6日（日）に群馬学習センター所属の新入生及び在学学生を対象に開催しました。センター職員のほか、今年度10月からスタートした以下の取り組みの「広報・履修サポーター」に任命された先輩学生が参加者からの相談を受ける形で進み、実体験を踏まえた勉強の取り組み方、学生生活等のアドバイスをを行う、とても有意義な懇談の場となりました。

参加者からは、「疑問点や聞きたいことをたくさん質問できてよかった」「資料を見ながら丁寧に教えてもらい、イメージが浮かんできた」「学習の進め方、生活の仕方について具体的に教わることができた」などの感想が聞かれ、充実したサポート会であったようです。

今後も定期的に「履修サポート会」を開催する予定です。次回の開催が決定しましたらお知らせしますので、是非ご参加ください。



「広報・履修サポーター」募集中!!

群馬学習センターウェブサイトや学内連絡等でもご案内しておりますが、本学習センター所属学生を対象に「広報・履修サポーター」の取り組みを始めました！登録制となっておりますので、ご興味のある方は事務室窓口までお申し込みください。

「広報・履修サポーター」に任命されると、群馬学習センターオリジナルの名刺を作成してお渡しします。職員と共にセンターを盛り上げるお手伝いをお願いします!!

【主な活動内容】

◎学生募集のための普及活動

身近なご友人・知人の方に放送大学についてお話ししてみてください。学生さん方が持っている個人のネットワークや所属しているコミュニティから、放送大学のことを広く知ってもらう機会を作るお手伝いをお願いします。

◎履修サポート会等での履修指導

11月6日（日）に行われた「履修サポート会」のような行事で、放送大学の学生生活に不慣れな新入生や在学学生の方々に対して、先輩としてアドバイスをお願いします。日々の学習の中での工夫やアドバイスをお伝えしてもらえればと思います。

※その他、詳しくはセンター事務室（TEL 027-230-1085）まで！

一から全へ

放送大学名誉学生 こばやし よういち 小林 洋一

2022（令和4）年9月、放送大学全科履修生「情報コース」を卒業いたしました。

これにより、名誉学生の称号を授与され、大変光栄に存じ、心より御礼申し上げます。

ふり返りますと、1995年の10月が始まりでしたので、足かけ27年間となりました。

その間、放送大学院修士課程の2年間と、若干の休学期間がございました。

90年代、私は、医学部卒業後、研修医の勤務を終了したものの、「この先、いかに生きるべきか」に、かなり深刻に悩んでおりました。もちろんそこには、「医師として、何をすべきか、何ができるのか」という問いも多く含まれていました。

そのような時、当時、TVのUHFで、無料放送されていた「放送大学」を知りました。TVで、歴史の講義を見て、その面白さにひかれ、書店で、パンフレットや教科書を探しました。ネットは、まだ、全く身近にない時代です。

はじめ、どの講義を選択しようか、一瞬迷いましたが、すぐに「哲学」「歴史」「心理学」に決め、科目履修生としてスタートしました。

どの講義も、わかりやすく、ポイントを押さえ、45分で簡略にまとまっており、大変驚くと同時に、非常に学びやすかったです。

中でも、ラジオの、渡邊二郎教授の「哲学」シリーズの講義には、深く感動いたしました。上記した、「いかに生きるべきか」に、ストレートに答えを示していただけた気がしました。

「心理学」シリーズも、大変参考になりました。医学部を出ていながら、ろくに心理学は学んで

おらず、恥ずかしながら、非常に役立ちました。

数年後、ある程度取得単位が溜まったところで、卒業を目指し、一念発起して、全科履修生として、「人間の探求」専攻から、入学いたしました。

その「専攻」を卒業後、「心理と教育」コースに再入学し、卒業いたしました。

そのように、一つ一つ「単位」を増やし、一つ一つ「卒業」を増やしていきました。

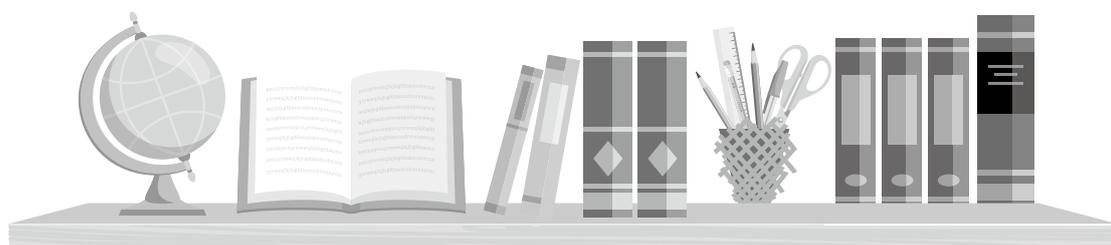
今、50代半ば、恥ずかしながらも、医師として、患者様を診察し、少しは世の中のお役に立っているのかな、と思っております。それも、放送大学が、医学部教育に欠けている、「人間」としての「基本」「基礎」を教えてくださいましたお陰と思っております。また、私が抱いていた、「いかに生きるか?」「よき社会人とは?」といった疑問に、ヒントを提示してくれたからだと思います。まさに、私の人格形成の「基礎」となり、人間陶冶に、大変役立ちました。

この、放送大学との出会い、学んだ27年間は、非常に幸福で、貴重な時代となり、私の人生にとって、欠くべからざる「時間」であったことは、断言できます。心より感謝申し上げます。

今後、人生に、生き方に迷う人にそのヒントを提示し、また社会人として（スペシャリストが求められる時代ですが）、ジェネラリストも育ててくれる、放送大学であり続けていただきたいと、願っております。

放送大学の発展と、在校生および関係者皆様の幸福を、心よりお祈り申し上げます。

本当にありがとうございました。



群馬学習センターに番組制作の取材が入りました!!

■面接授業「群馬の自然：保護と利用」

放送大学・客員教授の河合明宣先生が担当されるこの授業は、約20年にわたり開講している宿泊を含む2日間の野外授業です。今学期は10月15日（土）、16日（日）の日程で、群馬県の北に位置する利根郡片品村と尾瀬ヶ原を訪れ、「環境保護と利用」というテーマで開講されました。事前の講義と実際に自然に触れながらのフィールドワークで学べるので、本学習センター所属学生だけでなく、他センターの学生も多く参加する人気授業の1つです。

今回のフィールドワークは晴天に恵まれ、色鮮やかな紅葉に染まる尾瀬ヶ原を体感でき、参加者からは、「様々な立場からの自然環境保全を考える機会になった」「フィールドワークで実際に体験できるのがよかった」「次回尾瀬を訪れる時に、授業で得た知識を生かしたい」というような声がありました。

なお、今回の授業の様子については、学園本部の撮影スタッフが同行し、取材及び収録が行われました。この様子は12月期の放送番組「キャンパスガイド」で放送されました。放送大学YouTubeチャンネルでも配信されていますので、是非ご覧いただき、今後の受講を検討されてみてはいかがでしょうか。

【放送予定】

キャンパスガイド12月号②
放送大学YouTubeチャンネルにて
配信中!!



尾瀬ヶ原にてフィールドワークの様子

■小野里好邦前所長

「スペシャル講演～英語学習への認知科学からのアプローチ～」

小野里好邦前所長は、2017年4月から2022年3月までの5年間、群馬学習センターの所長として、本学習センターの運営にご尽力されました。退任された後も、学生のために在任時に開講されていた教員ゼミ「The New York Timesの見出しを読む」を、今年度も引き続き開講いただいております。

この度、放送大学を定年退職された先生方の研究功績を紹介する「スペシャル講演」にて小野里前所長が出演され、去る11月25日（金）に開催された第2学期教員ゼミの初回時に合わせて、学園本部取材班による番組収録が行われました。テーマは小野里前所長が在職中に特に重点的に取り組み、現在群馬学習センターの特色にもなっている英語多読等による英語学習の活動です。

以下のとおり、放送が予定されておりますので、詳細は是非番組をご覧ください。

【放送予定】

生涯学習支援チャンネルBS231
2022年度内に放送予定!!



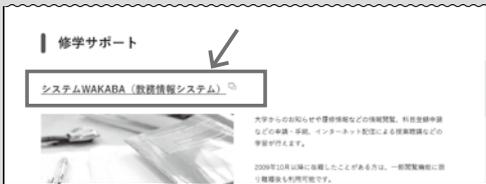
番組収録の様子

システムWAKABAを単位認定試験対策に活用しよう

システムWAKABAには日々の学習に役立つ情報が掲載されています。単位認定試験の過去問題・解答や、これまでの成績もこちらから確認することができますので、パソコン、タブレット等でアクセスしご活用ください。
 (※『学生生活の葉』学部P22~24・112~114 大学院P31~33・103~105)

【システムWAKABAにログインする】

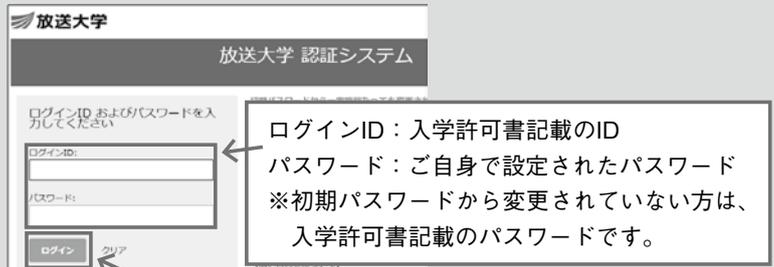
- ①放送大学のウェブサイトを開き、「在学生の方へ」のページから「システムWAKABA(教務情報システム)」をクリック。



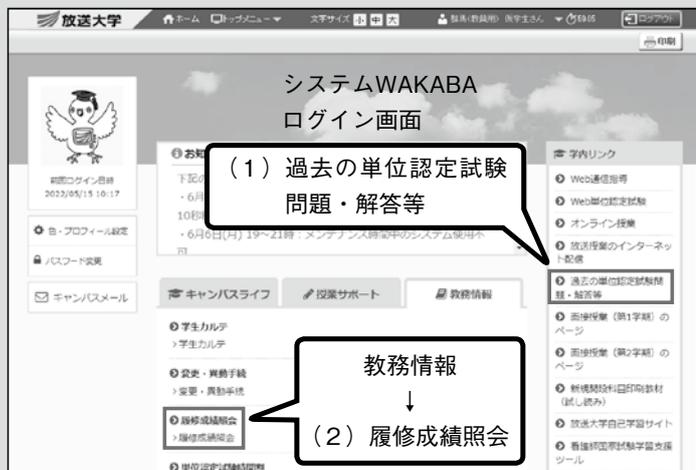
- ②ログインをクリック。



- ③認証システム画面で、ログインIDとパスワードを入力し、ログインをクリック。

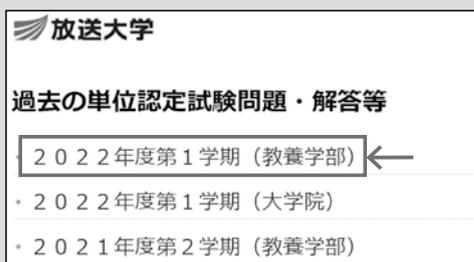


- ④それぞれの項目をクリック。



【(1) 過去の単位認定試験問題・解答等の閲覧】

- ①閲覧したい学期を選択してクリック。
 ※試験問題・解答の公表期間は約1年間です。



- ②閲覧したい科目の問題や解答・解説のPDFをクリック。

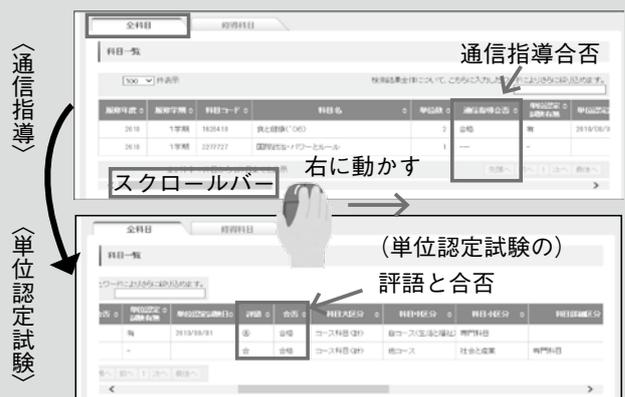


【(2) 履修成績照会の確認】

- ①確認したい科目の年度・学期を選択して、「表示」ボタンをクリック。



- ②「全科目」のタブで通信指導、単位認定試験の合否等が表示される。
 ※全ての項目を閲覧するには、下部のスクロールバーを動かして確認してください。



2022年度第2学期 単位認定試験について

放送大学では、新型コロナウイルス感染拡大を契機に、単位認定試験の実施方法の改善に取り組んでおり、2022年度第2学期の単位認定試験については、以下の通りWeb受験方式（一部科目については郵送受験方式）にて実施します。

【実施方法および出題形式】

Web受験方式

- * 自宅等から、インターネットを通じてWeb単位認定試験システムにアクセスして受験します。
- * 科目ごとに「択一式」「記述式」「併用式」がありますので、「授業科目案内」でご確認ください。
- * 1科目50分の制限時間があります（一時停止不可、1回のみ受験可能）。
- * 試験期間中、時間割の試験日・時限に関わらず自宅等からいつでも受験できます。

郵送受験方式

（※「正多面体と素数（'21）」「日本美術史の近代とその外部（'18）」「量子化学（'19）」のみ）

- * 12月末頃、大学本部から発送される問題用紙・解答用紙を用いて解答を作成し、提出用封筒にて郵送により提出します。

【試験日程】

試験期間（Web受験方式）：2023年1月17日（火）9：00～1月25日（水）17：00
提出期間（郵送受験方式）：2023年1月17日（火）～1月25日（水）【本部郵送必着】

【試験の流れ】

※詳細は、12月末頃に大学本部から郵送される案内を参照してください。

～試験期間まで

【体験版で操作確認】

操作体験をし、以下の3点をご確認ください。

- ①システムWAKABAへのアクセス方法
- ②解答提出までの操作方法
- ③自宅のネット環境

**2023年1月17日（火）9：00
～1月25日（水）17：00**

（※郵送受験科目は1月25日（水）必着）

【試験期間】

〈Web受験方式〉

- システムWAKABA→学内リンク「Web単位認定試験」から、科目ごとに受験する。

〈郵送受験方式〉

- 問題用紙と解答用紙を用いて解答を作成し、提出用封筒にて郵送により提出する。

12月末（12 / 27頃予定）

【大学本部から案内発送】

- ・ 受験票
 - ・ 問題冊子・提出用封筒等一式（郵送受験科目のみ）
- ※1 / 10（火）までに届かない場合、大学本部へお問い合わせください。

大学本部（総合受付）
TEL：043-276-5111

2月下旬（予定）

【大学本部から成績通知発送】

- ※成績は、システムWAKABA「教務情報→履修成績照会」でも確認できます。
- ※郵送を待っていると、次学期の科目登録に間に合わない可能性がありますので、システムWAKABAで確認することをおすすめします。

【再試験について】

2022年度第2学期に登録した科目の単位修得ができなかった場合、2023年度第1学期に学籍がある場合に限り(休学中の場合を除く)、科目登録をしなくても再試験を受験できます。手続きは必要なく、授業料等はかかりません。受験票は、次学期の単位認定試験前に自動的に送付されます。

【その他】

試験期間中、学習センターの利用は電話対応のみとし、学習センター受験を申請済みの方以外は、学習センターを利用できません。※試験を受ける方は『群馬学習センター駐車場』を利用できますが、満車の場合は近隣の有料駐車場(料金自己負担)をご案内させていただきますので、時間に余裕を持ってお越しください。

こんな時はどうしたらいいの？

Q 1. システムWAKABAにログインができません。

A 1. すぐに群馬学習センターへご連絡ください。パスワードの初期化を行います。

「ID：学生番号／パスワード：入学許可書記載のもの」でログインをし、受験してください。※初期化したその日のうちに、必ずパスワード変更を行ってください。再度ログインができなくなります。

Q 2. 受験を中断した場合、解答は保存されますか？

A 2. 「保存して次へ」や「一時保存(記述式・併用式)」を押さずに受験画面を閉じると、それまでの解答内容は失われますのでご注意ください。また、「すべての解答を送信して終了する」を押さずに制限時間が経過した場合は、制限時間経過時点での解答内容が自動提出されます。

Q 3. パソコントラブルで受験ができなくなりました。再度受験はできますか？

A 3. 学生個人の環境の問題(操作ミス、パソコンの故障、フリーズ等)で受験ができなかった場合、救済措置は行いません。1科目につき受験は1回のみです。

Q 4. 単位認定試験は時間割通りの日時に受験するのですか？

A 4. 自宅受験の方は日時関係なく、期間内であれば24時間いつでも受験可能です。

学習センター受験の場合、原則、時間割通りの時限に試験を受けていただきます。

※個別に日程調整をお願いすることがございます。

1 / 25 (水) 7・8時限の科目は原則日程調整を行います。



◎学習センターで受験される方へ◎

1月に開催する体験会での操作と同様に、学習センターのパソコンを使って受験していただきます(記述式の科目のみ解答用紙で行います)。

試験は「授業科目案内」(学部P141～144 / 大学院P49～50)に記載されている時間割の通りに実施しますので、ご自身の受験科目の試験日・試験時限をご確認のうえ、来所して試験を受けてください(個別に日程調整をお願いする場合がございますので、予めご了承ください)。

〈試験当日の持ち物〉

①受験票(単位認定試験通知)

試験日の1週間前までに送付されます。1/10(火)になっても届かない場合、あるいは紛失した場合は大学本部(043-276-5111)へお問い合わせください。

②学生証

学生証は群馬学習センターで発行します。まだ学生証をお持ちでない方や有効期限の切れている方は、群馬学習センター窓口にて発行手続

きをしてください。

③システムWAKABAログインID・パスワードメモ
体験会時に配布した用紙を持参してください。

④筆記用具(鉛筆、シャープペンシル、消しゴム等)
記述式の科目を受験する方は必ず持参してください。

⑤持ち込みが許可された物品

受験票送付時の案内等をご確認ください。飲料については蓋のできる容器に入ったものは許可します。

2023年度第1学期の手続きについて

(※『学生生活の葉』学部P58～63・94～96 大学院P56～62・90)

次学期に学習を継続するためには手続きが必要になります。ご自身の学籍をご確認のうえ、それぞれ出願または申請を行ってください。各要項は1月中旬頃に大学本部から送付予定です。

今学期（2022年度第2学期）
で学籍が切れる方

次学期（2023年度第1学期）
も学籍がある方

【継続入学出願】

【科目登録申請】

申請方法	<p>●2023年度第1学期に面接授業を登録しない方</p> <p>郵送 「出願票」を郵送する 第1回：～2月28日（火）私書箱必着 第2回：3月1日（水）～3月14日（火）私書箱必着</p> <p>システムWAKABA 「教務情報」→「継続入学申請」から出願 第1回：～2月28日（火）24時 第2回：3月1日（水）0時～3月14日（火）17時</p> <p>●2023年度第1学期に面接授業を登録する方</p> <p>システムWAKABA 「教務情報」→「継続入学申請」から出願 2月13日（月）9時～2月28日（火）24時 ※面接授業のみの出願はできませんので、必ず放送授業またはオンライン授業を1科目以上登録してください。</p>	<p>郵送 「科目登録申請票」を郵送する 2月13日（月）～2月27日（月）私書箱必着</p> <p>システムWAKABA 「教務情報」→「科目登録申請」から申請 2月13日（月）9時～2月28日（火）24時</p>
注意事項	<p>◇継続入学される方で次学期に再試験のみを希望される場合は、「再試験受験資格を得るためだけの出願ですか?→はい」に○を記入してください。</p> <p>◇選科・科目履修生の方が初めて全科履修生に出願する場合、郵送、システムWAKABA、いずれの場合も証明書類の提出（郵送）が必要になります。</p> <p>◇集団入学や共済組合・事業団を利用して入学された方、自主退学された方には継続入学の案内は送付されません。ご自身で資料請求をお願いします。</p> <p>◇全科履修生は、連続して4学期間（休学期間を除く）科目登録申請及び授業料納入を行わないと、自動的に除籍となりますのでご注意ください。</p> <p>◇各要項が1月中旬を過ぎても届かない場合は、大学本部（TEL：043-276-5111）までお問い合わせください。</p>	

今学期末（2022年度第2学期末）に卒業見込みの方

2月下旬頃の成績判定後に次学期に向けて必要な手続きを行ってください。

- ①卒業となった場合：他コースの全科履修生、または選科・科目履修生として継続入学ができます。
- ②卒業とならなかった場合：次学期も学籍がある方は、【科目登録申請】を行ってください。卒業とならず学籍も切れてしまう方は、【継続入学出願】を行ってください。

📎 証明書の発行について (※『学生生活の栞』学部P100~102 大学院P92~94)

各種証明書の発行は、学習センター窓口または郵送で受け付けています。

窓口で
即日発行可能!

◆成績・単位修得証明書（看護学校へ提出等）…様式9

◆学力に関する証明書（特別支援教諭免許 / 特例幼稚園教諭）…様式10

※このほかにも各種証明書の発行を行っていますが、種類によっては発行に2週間程度かかる場合がありますので、十分余裕を持って請求してください。

申請にあたり、下記のご準備をお願い致します。

窓口の場合

- ①放送大学ウェブサイトまたは、『学生生活の栞』巻末の「諸証明書交付願」にご記入の上、学習センター窓口へお越しくください（交付願は学習センターにもあります）。
- ②発行手数料 1通につき200円が必要です。

郵送の場合

下記の3点を群馬学習センター宛にお送りください。

- ・諸証明書交付願（記入漏れがないようにお願いします）
- ・発行手数料 1通につき200円（現金書留または郵便小為替）
- ・返信用封筒（長形3号の封筒に宛先を記入。切手は1通の場合84円、2通以上は94円を貼ること。）

📎 各種願（届出）の提出先について (※『学習センター利用の手引』P7)

各種願（届出）の提出先は大学本部となります。【提出期限必着】

なお、学部の「住所等変更届」については、所属学習センターへの提出となります。学習資料を受け取る際に重要ですので、変更があった場合には速やかにお届けください（郵便局にも「転居届」をご提出ください）。

📎 図書室からのお知らせ

昨今、本センター内での個人パソコン等の持込利用者が増えていることから、より利便性の向上を図るため、以下のとおり施設利用方法を変更しましたので、お知らせします。

●視聴学習室

個人所有のパソコンやタブレットを持込可。学生証の提示不要。

●視聴ブース(カウンター前にある元のパソコンブース)
放送教材 (CD / DVD) 等の視聴ができます。

※視聴学習室・視聴ブースとも時間制限なしでご利用できます。



視聴学習室



視聴ブース

今後のスケジュール

1月	12月28日～4日 群馬学習センター年末年始閉所期間 7日・8日、14日・15日 Web単位認定試験体験会 11日 松浦ゼミ (12/21分振替開講) 17日～25日 単位認定試験 (自宅Web受験) 27日 小野里 (前所長) ゼミ	
2月	8日 「所属学習センター変更願」 提出期限 [郵送必着・WAKABA] 13日 2023年度第1学期 科目登録受付開始 [郵送・WAKABA] 18日 土曜フォーラム [公開講座] (2022年度第2回) 24日 小野里 (前所長) ゼミ 27日 2023年度第1学期 科目登録期限 [郵送必着] 28日 2023年度第1学期 科目登録期限 [WAKABA]	
3月	11日 私の課題発表会 24日 小野里 (前所長) ゼミ 25日 2022年度学位記授与式 (NHKホール) 休学・復学・退学届 提出期限 [郵送必着] 31日 休学・復学・退学届 提出期限 [WAKABA]	

【月曜日以外の閉所日】 1 / 1 (日)、3 (火)～4 (水)、18 (水)、28 (土) (臨時閉所)、2 / 11 (土)、23 (木)、3 / 21 (火)

お願い

新型コロナウイルス感染拡大予防措置対応や台風等による風水害の影響があった場合、予定した日程を延期または中止にしたり、臨時閉所したりすることがあります。今後の予定変更は、群馬学習センターウェブサイトでご確認ください。

学生サークル紹介

現在、群馬学習センターでは、様々な分野の10サークルが活動しています。新型コロナウイルス感染症の影響により、センター行事内での学生サークル紹介がなかなかできていない状況であることから、この度、本紙にて数号にわたり、各サークルの活動内容やメッセージを、写真等を添えてお伝えいたします (紹介サークルは順不同)。ぜひ、ご興味のあるサークルをチェックしてみてください！
※サークル代表者への連絡先は事務室までお問い合わせください。

自然科学愛好会

会長 横山 實 / 副会長 関口 恭昭

私たちは自然科学への理解を深めたい人たちの研究会で、略称をナチュレと申します。会の進行は自然科学のテーマに基づき、各会員がリーダーとなる輪講方式で行っています。そのため、会員は物理や化学、その基盤となる数学についての多少の知識を有していることが必要となります。また、少人数による会員相互の親睦を図ることも目的としています。その時々自然科学に係る話題やテキストの内容について、ワイワイガヤガヤ年甲斐もなく議論することを楽しんでいます。

例会の開始時には会員同士の情報交換もあり、その話題は長年の職業で培った経験に基づく見解や裏話など、話題の神髄に触れることができ、感心することや有益な情報を頂くことがしばしばです。また、「同病相憐れむ」同年代の仲間とは親近感を感じ、ほっこりさせられています。

輪講では、会員推薦による「なるほど力学」が終了し、今は「時空の物理学」の演習問題をゆっくりじっくり焦らず、輪番制で解いています。その際、テキストへのいちゃもんや問題の別解、疑問点など大学の授業では行い難いことが歓迎されます。そして、それらに対する分かりやすい図解や解説がなされるなど、会員の疑問を大事にする雰囲気があり、自然科学への理解が一層深まって行くのを感じています。

上記のような肩の張らない同好会ですので、興味のある方は会長または副会長まで連絡願います。

- 会 費：必要に応じて徴収します。
- 日 時：月に2回 第1・3金曜日 AM10:00～12:00に活動しています。
(※日時に変更になることもあります。)



放送大学学生サークル若宮クラブ (その①)[※]

会長 大高 清

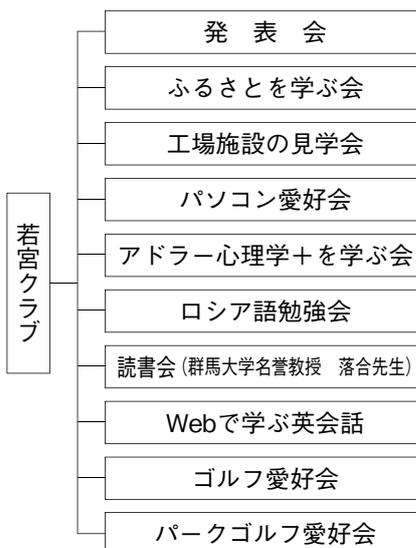
若宮クラブは、発足以来「仲間と共に楽しく学ぶ」という事を基本理念に活動しています。

平成31年には、河合先生のアジア産業論を学んだ事を契機に「台湾研修」を実施しました。令和元年には、読書会で柳田国男の「遠野物語」を学び、「命を紡ぐ旅 遠野地区と震災地を巡る旅」と題して、岩手県遠野市、宮城県気仙沼、仙台市を中心とした研修旅行を行い、震災を被った地区に今後何が出来るかを考える貴重な体験をしました。令和3年12月には、富弘美術館、桐生、大間々方面の歴史を学ぶ旅行をしました。今後も「机上の空論」にならない様に現地に赴き検証する研修を行っていきます。

現在実施している活動は右図の通り、多岐にわたり活動しています。また、インターネットを活用して他の学習センターのクラブ活動とも連携した新たな試みも実施しています。今後も他のクラブ活動との連携と会員の皆様と共に学び話し合う事で、「自己実現の図れる場所」の提供を積極的に行ってまいります。

楽しく充実した学生生活を送るため、若宮クラブに参加してみたいかかでしょうか。きっと人生が今よりも豊かになると思います。

〈若宮クラブ活動一覧〉



【年会費：1,000円】



①平成31年4月16～19日
台湾研修



②令和1年10月30～31日
「命を紡ぐ旅 遠野地区と震災地を巡る旅」



③アドラー心理学+を学ぶ会
オンラインで北海道学習センター学生
2名参加

※若宮クラブは活動が多岐にわたるため、複数回に分けてご紹介します。

放送大学群馬混声合唱部

部長 星野 章

私たち合唱部は、音楽を介して親睦の和を広げ、以って勉学の功を挙げることを目的としております。誰でも知っている懐かしい歌、歌曲、ポップスなど幅広く練習しています。2021年4月からは「ゼロから始めるバイオリン」のクラスを開設し、ソロだけでなく弦楽合奏も楽しめるようになりました。

指導は、合唱・バイオリン共に、放送大学卒業生の大山雅子さんです。練習は月2～3回程度、主に学習センターの教室で行っています。現状は土曜日と水曜日に練習しています。

2023年3月に、合唱とバイオリンの合同発表会を開催します。詳しくは合唱部のウェブサイトをご覧ください。興味のある方は、まず見学に来てください。

●会費：1,500円／半年 3,000円／1年

●日時：基本 土曜日と第3水曜日
10:00～12:30 バイオリン
13:30～15:30 合唱
(変更することがあります)

●部長：星野 章



合唱部ウェブサイト



*ご質問・ご連絡は、ウェブサイトの「コンタクト」又は部長まで！ 2022年度第1学期学位記授与式での合唱のようす

同窓会からのお知らせ

2022年度「私の課題発表会」について

群馬同窓会では群馬学習センターと共催で、2022年度「私の課題発表会」を開催予定です。「私の課題発表会」は、主に学生が卒業研究や修士論文で取り組んできた課題を発表します。放送大学で学んだ学生が、長期にわたって取り組んできた研究発表を聞くことのできる良い機会ですので、ぜひご参加ください。

なお、当日の開催につきましては、発表者数や今後のコロナウイルス感染状況等により変更になる場合がございますので、詳細は追ってお知らせいたします。

〈開催予定〉

◎日時：2023年3月11日（土）10：30～

◎参加人数：先着50名

◎場所：放送大学群馬学習センター

◎申込方法：※追ってお知らせします

そうしょ

叢書のご案内

放送大学の叢書は全58刊となりました。これから下記の叢書も販売予定になっております。本の概要については、出版元の左右社ウェブサイトでご覧いただけます。

左右社やAmazonなどインターネットで購入することもできますが、群馬同窓会では学生の皆さんがお求めやすい価格設定（10%引き）で販売しております。全刊をエントランスホールの書棚に置いてありますので、購入希望の方は学習センター窓口にてお申し付けください。

【新刊（販売予定）】「少年非行（新版）」 鮎川 潤 著



左右社

放送大学 4月 入学生募集中です!

2023年度第1学期（4月入学）の教養学部および大学院（修士選科生・修士科目生）の学生を募集中です。募集内容の詳細や、インターネット出願については、放送大学ウェブサイトをご覧ください。大学案内パンフレット、学生募集要項などの各種資料は、群馬学習センターで配布しているほか、放送大学ウェブサイトまたはお電話でもご請求いただけます（無料）。皆様のご友人・知人で興味がある方がいらっしゃいましたら、ぜひご案内ください。

【第1回募集期間】 2022年11月26日（土）～2023年2月28日（火）

【第2回募集期間】 2023年3月1日（水）～2023年3月14日（火）

●資料請求・お問い合わせ先

放送大学群馬学習センター

TEL 027-230-1085

資料請求フリーダイヤル

TEL 0120-864-600

詳しくは放送大学ウェブサイト

「入学案内」で検索！



入学相談も
おこなって
います！

